

取扱説明書

通信型ドライブレコーダーユニット

TMX-DMO4

はじめに

安全上のご注意

端末について

端末の使い方

事故予防・
事故防止支援機能

ドライブレコーダー機能
(映像記録機能)

ドライブレコーダーの
設定

データアップデート/
サービスの有効期間

困ったときは

付録

目次

はじめに

本書の見かた	4
--------------	---

安全上のご注意

安全上のご注意	5
内蔵バッテリーに関するご注意	5
接続・取り付け	6
使用方法	7
シガーライター電源ケーブルに 関するご注意	8
異常時の問い合わせ	9
利用上のご注意	10
GPS について	11
microSD カードの取り扱いに 関するご注意	11

端末について

各部の名称と主な働き	13
ホーム画面に表示される アイコンについて	16
タッチパネルで操作する	17
ステータス LED の 表示について	18
Intelligent LED の 表示について	19

端末の使い方

日常の運転時の機能	20
端末の使い方 (サービスの開始と終了)	21
サービスの開始から終了まで	21
手動で録画する	24
端末の電源をオフにする	24
端末本体の取り外し方	25
外部入力用ケーブルを使う	26

・サブカメラを使う	26
・速度や走行距離を検出する	27

事故予防・事故防止支援機能

Intelligent Pilot	29
ユアメッセージ	29
ユアアラート	30
・ユアアラートに関するご注意	30
ドライブサポート機能	31
レーンキープサポート機能について ..	32
レーンキープサポート機能に 関するご注意	33
前方車両接近警告機能 / あおり運転予防機能について	34
・前方車両接近警告機能について ..	34
・あおり運転予防機能について	34
前方車両接近警告機能 / あおり運転 予防機能に関するご注意	35
危険運転警告機能	37
衝撃検知機能	37

ドライブレコーダー機能 (映像記録機能)

衝撃と録画の関係について	38
ドライブレコーダー機能 (映像記録機能)	39
ドライブレコーダー機能 (映像記録機能) について	39
ドライブレコーダー機能に 関するご注意	40
録画された映像の取り扱いについて ..	41
録画した映像を再生する	42
・録画した映像を削除する	44
・イベント録画映像を手動でロック/ ロック解除する	45

ドライブレコーダーの設定

ドライブレコーダーの設定.....	46
各種設定を変更する.....	46
設定項目一覧.....	47
・システム設定.....	47
・端末情報.....	48
・ドライブサポート.....	49
・Intelligent Pilot.....	50
・ドライブレコーダー.....	50
・センサ通知設定.....	52

データアップデート/ サービスの有効期間

端末をアップデートする.....	53
サービスの有効期間.....	54
期間切れ予告メッセージ.....	54
期間切れメッセージ.....	54

困ったときは

よくあるお問い合わせ (FAQ) ...	55
故障かな?と思ったら.....	56
エラーメッセージ.....	59
端末を起動したとき.....	59
ドライブレコーダー機能を 利用しているとき.....	61
microSD カードを取り出したとき...	63
[システム設定] のメニューを 操作しているとき.....	63

付録

microSD カード / nanoSIM	
カードの交換について.....	64
充電式バッテリー交換について / リサイクルご協力のお願い...	66
商標・著作権.....	70
主な仕様.....	71
電波に関するご注意.....	73

本書の見かた

表記	意味
⚠ 警告 / ⚠ 注意	取り扱いで注意していただきたいことや、端末の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて、説明しています。
📝 メモ	操作するうえでのヒントや、機能に関する補足について説明しています。
【〇〇】	操作に使用する端末のボタンを表します。
[〇〇]	端末の画面に表示される選択項目を表します。
→ P.XX の「〇〇」 (→ P.XX)	参照していただきたい箇所を説明しています。 P.XX：参照箇所のページ 「〇〇」：参照箇所のタイトル


- 本書では、microSD メモリーカード、microSDHC メモリーカード、および microSDXC メモリーカードを総称して「microSD カード」と表記しています。
- 本書では、通信に必要な電波強度を満たしている場所を「通信圏内」、満たしていない場所を「通信圏外」と表記しています。
- 本書で使っているイラストや画面例、メッセージの内容は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。


安全上のご注意


安全にご使用いただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに及ぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


 **危険** 「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」です。

 **警告** 「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。

 **注意** 「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意（警告を含む）しなければならない内容です。

 禁止（やってはいけないこと）の内容です。

 必ず行っていただく強制の内容です。

内蔵バッテリーに関するご注意

危険



禁止

火の中への投入や火気に近づけたり、加熱したりしない

絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構を損傷するだけでなく、漏液した電解液に引火し、破裂、発火の原因となります。

直接叩くなどして強い衝撃を加えない

変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。

指定以外のバッテリーは使用しない

バッテリーの破裂、液もれにより、ケガや周囲を汚染する原因となります。

液体で濡らさない

組み込まれている保護回路が壊れ、異常な電流、電圧でバッテリーが充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。

警告



強制

バッテリーの液もれが発生した場合は、ただちに使用を中止し、付属のシガーライター電源ケーブルのシガープラグをシガーソケットから抜く
バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。目に入ったときは、きれいな水で洗った後、ただちに医師にご相談ください。

接続・取り付け

警告



禁止

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。
前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

電源ケーブルの被膜を切って、他の機器の電源を取るなど、分岐配線をしない
電源ケーブルの電流容量がオーバーし、ケーブルが過熱して、火災や感電、故障の原因となります。

ケーブル類は、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、一度剥がしたものをそのまま再び貼り付けたり、汎用の両面テープで貼り付けたりしない
視界不良やケーブル類が剥がれて、事故の原因となります。

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズが付いている場合があるため、保護回路が動かなくなり、火災の原因となります。



強制

必ず付属の部品を使用し、説明書に従い確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けを行う

説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する
正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

小物部品、microSD カード、nanoSIM カードは、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意



禁止

ヒーターの熱風が直接あたらないように吹き出し口の方向を調整する
内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

端末を取り付け指定位置以外のところに取り付けない

落下などの原因となることがあります。

雨が吹き込むところや水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには
取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。



強制

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

安全上の注意

使用方法

警告



禁止

運転手は運転中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転手は運転中に画像を注視しない

前方不注意となり交通事故の原因となります。

端末本体および内蔵バッテリーを液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

画面が映らない、音が出ない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

通気孔や端子部分などから端末内部に異物を入れない

金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

引火性ガス（プロパンガス、ガソリンなど）の発生するような場所では、電源を切り、使用しない

引火・爆発の原因となります。

船舶、航空機、バイク、登山で使用しない

位置誤差が生じたり、バッテリーがなくなったりして、機能が正常に使用できず事故の原因となります。また、塩害などにより発熱、破裂、発火の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、端末やケーブル類に触れない

落雷による感電の危険性があります。

⚠ 警告



分解禁止

端末本体および内蔵バッテリーを分解や改造しない

交通事故や火災、感電の原因となります。また、分解すると保証の対象外になります。

端末を固定している各種ねじを外した状態で使用しない

走行中の振動や衝撃により、端末が落下する原因となります。



禁止

風呂場、シャワー室や調理台、加湿器のそばなど、油煙、湿気、ほこりの多い場所で使用しない

火災、感電の原因となります。



強制

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア）のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

⚠ 注意



禁止

キャッシュカードやフロッピーディスクなどを端末に近づけない

磁気データが消去されることがあります。

端末をダッシュボードの上に放置しない

変形、バッテリーの破裂、液もれの原因となることがあります。

端末をフロントガラスと専用サンシェードなどの間に挟み込まない

熱がこもり、端末の変形や故障の原因となることがあります。

シガーライタープラグを濡らしたり汚したりしない

火災・感電の原因となることがあります。濡れたり、汚れたりしたときは、きれいに拭き取ってください。



強制

音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

電源オン時はボリュームに注意する

電源オン時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



注意

温度の上昇に注意する

端末は、環境や使用状況によって温度が上昇する場合があります。ケガや事故の原因となることがありますので、ご注意ください。

シガーライター電源ケーブルに関するご注意

⚠ 警告



禁止

船舶などの直流（DC）電源には接続しない

火災の原因となります。

ケーブルや端子部を傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりしない

ケーブルや端子部が破損し、火災・感電の原因となります。

警告



禁止

濡れた手で（電源）プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

他の電気製品には使用しない

付属のシガーライター電源ケーブルは、端末のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となります。

端末に付属のもの以外は使用しない

他の電源ケーブルを使用した場合、端末の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となります。



強制

電源プラグはきれいにしておく

電源プラグの端子、および付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

付属のシガーライター電源ケーブルのシガープラグを、お車のシガーソケットまたはアクセサリースOCKETに確実に奥まで挿入する

付属のシガーライター電源ケーブルの USB Type-C 端子を、端末の USB Type-C 電源端子に確実に奥まで挿入する

確実に挿入されていないと、正しく動作しない原因となります。また、発熱したり、ほこりが付着して火災・ケガの原因となります。

注意



禁止

プラグを抜くときは、ケーブルを引っ張らない

ケーブルが破損し、発熱・火災・ケガ・感電の原因となることがあります。



強制

使用しないときや、お手入れのとき、移動させる場合はプラグを抜く

発熱・火災・ケガの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



強制

万一異常が起きた場合はただちに使用を中止し、別冊を参照して所定のコールセンターへ必ず相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

利用上のご注意

- 本端末は車載用です。取扱説明書、取付説明書の記載を守らず、別用途で使用された場合は保証の対象外となります。さらに、故障、不具合に対して製造元は一切の責任を負いかねますのでご注意ください。
- 取扱説明書、取付説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、製造元は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合などは保証の対象外となりますので正しくご利用ください。
- 本端末をご使用いただく場合は、必ず付属の部品を使用し、改造などは行わないでください。本端末の改造などによって生じる故障、不具合などに対して、製造元は一切の責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合の機能、性能の保証は致しかねますので正しくご利用ください。
- シガーソケット分配器を使用してご利用いただく場合は、使用状況により車両本体のヒューズ破損等故障の原因となる可能性がございますので、お客様の判断・責任のもとで行ってください。
- お車のエンジンを切っても、端末がスリープ状態にならない車種（常時電源車など）の場合、端末を利用しないときは必ずシガーソケットまたはアクセサリソケットからシガープラグを抜いてください。抜き忘れるとお車のバッテリー上がりの原因となります。
- 端末を取り付けると、お車のサンバイザーに干渉する場合があります。
- 端末の表現するすべての機能は、周囲の安全を保証するものではありません。必ず実際に目視で安全を確認しながら運転してください。
- 端末の取り付け位置や周辺の電装機器によっては、双方の動作に影響が出る場合があります。
- 重大事故などにより、端末でご使用のデータやファイルが破損したり消去されたりする可能性があります。破損したデータや消去したデータは復元できません。
- 端末にペンキや車のワックスを塗ったり、シールなどを貼らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。
- 端末に内蔵しているリチウムイオンバッテリーは消耗品です。「バッテリー交換時期になりました。お買い上げの販売元にお問い合わせください。」のメッセージが表示されたときや、十分に充電しても起動に時間がかかるようになったときは、別冊を参照いただき、所定のコールセン

ターへご連絡ください。そのままご利用を続けた場合、適切なサービスを提供できない可能性があります。

- 本端末は小型家電リサイクル法の対象です。一般ごみとしての廃棄を行わないでください。使用済みの製品はお住いの自治体の指示に従って廃棄してください。使用済み製品に含まれる貴重な資源の有効活用にご協力ください。

GPS について

- GPS 衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムが GPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。
- GPS 衛星信号は、固体物質（ガラスを除く）を通過することができません。次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないことがあります。
 - － トンネルの中やビルの駐車場
 - － 2層構造の高速道路の下
 - － 高層ビルの群集地帯
 - － 密集した樹木の間
- 長い時間 GPS による測位ができない場合、時刻情報や速度情報が取得できないことがあります。このような場合でも、GPS の電波を受信してしばらくすると正しい情報に修正されます。
- 準天頂衛星システム「みちびき」に対応しています。
- 本書では GNSS に関して、一般的な GPS という文言を使用しています。

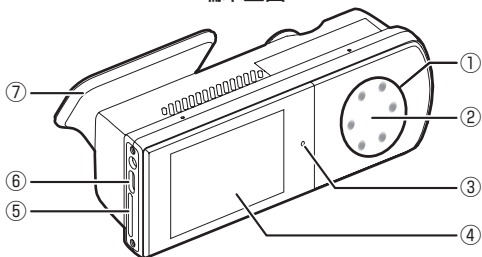
microSD カードの取り扱いに関するご注意

- 端末は、microSDHC カードと microSDXC カード（～512 GB、Class4/6/10）に対応しています。ただし、すべての microSD カードの動作を保証するものではありません。
- microSD カードを装着、または取り出す場合は、端末の電源を必ずオフにしてください。（→ P.24）お車のエンジンを切っただけでは端末の電源はオフにはならず、端末が microSD カードにデータの書き込むことがあります。このときや電源がオンのときに、microSD カードの取り付け、取り外しをすると、データや microSD カード自体が破損するおそれがあります。

- microSD カードは 2 週間に一度を目安に初期化することをお勧めします。microSD カードを初期化すると、録画した映像ファイルなど microSD カードに記録されたデータがすべて消失します。必要に応じて記録されたデータのバックアップを作成してから、microSD カードを初期化してください。
- microSD カードは消耗品です。普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。「microSD カードの異常を検知しました。一度エンジンを切り、microSD カードを抜き差ししてください。」のメッセージの表示が繰り返される場合には、別冊を参照いただき、所定のコールセンターへご連絡ください。
- お持ちのパソコンなどで認識できている microSD カードが、まれに端末で認識しない場合があります。この場合、端末の SD カード初期化機能で初期化することにより認識する場合があります。→ P.47 の「システム設定」
 - SD カード初期化を行った場合は、録画した映像ファイルなど microSD カードに記録されたデータがすべて消失します。必要に応じて記録されたデータのバックアップを作成してから、microSD カードを初期化してください。
 - SD カード初期化作業による microSD カードの不具合修復を製造元が保証するものではありません。また、本作業により、microSD カードのデータ消失並びに、その他損害が発生した場合は、製造元として責任を負えません。お客様の判断・責任のもとで SD カード初期化作業は実行してください。
 - microSD カードを新品に交換しても認識しない場合は、別冊を参照いただき、所定のコールセンターへご連絡ください。

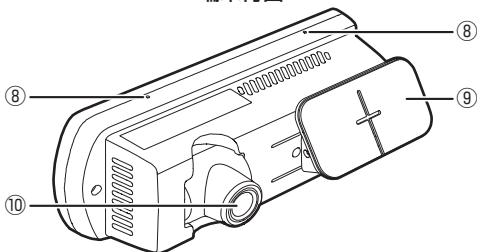
各部の名称と主な働き

端末正面



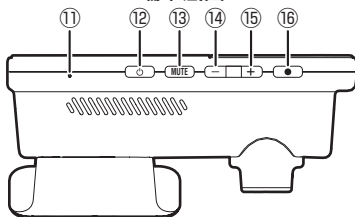
① Intelligent LED	端末の状態を LED の色や点灯状態により示します。 → P.19 の「Intelligent LED の表示について」
② スピーカー	端末の音声メッセージと警告音などが流れます。
③ ステータス LED	端末の状態を LED の色や点灯状態により示します。 → P.18 の「ステータス LED の表示について」
④ 液晶モニター	端末のカメラで撮影するお車前方の映像や、各種設定を行うための画面を表示します。操作するときは、指でタップします。 → P.17 の「タッチパネルで操作する」
⑤ microSD カードトレイ	microSD カードおよび nanoSIM カードを装着します。 → P.64 の「microSD カード/nanoSIM カードの交換について」
⑥ USB Type-C 電源端子 (DC IN 5V)	付属のシガーライター電源ケーブルを接続する端子です。
⑦ 取付ブラケット	端末をフロントガラスに取り付けるための部品です。次のような場合に、本取付ブラケットは取り外して、反転取り付けすることも可能です。 ・ ボタンを本体の上側に配置したい場合 ・ フロントガラスが立っている車両の場合 → P.25 の「端末本体の取り外し方」

端末背面



⑧マイク	録画や通話の際の音声を集音します。
⑨両面テープ (はくり紙付き)	取付ブラケットをフロントガラスに貼り付けるために使用します。
⑩カメラ	お車前方の映像を撮影します。

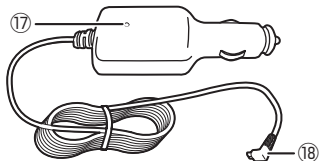
端末底面



⑪マイク	録画や通話の際の音声を集音します。
⑫電源ボタン	<p>電源オフ時：3秒以上押し続けると電源がオンになります。</p> <p>電源オン時：押すたびに画面の表示 / 非表示が切り替わります。2秒以上押し続けると電源オフ操作が可能になります。</p> <p>→ P.21 の「サービスの開始から終了まで」</p>

⑬ マイクミュートボタン	動画撮影中に端末周辺の音声を記録したくないときに押します。再度押すと、音声記録されます。マイクミュートがオンのときにお車のエンジンを切ると、次回エンジンをかけたときにもマイクミュートがオンのままになります。
⑭ ボリューム-ボタン	端末の操作音および再生音量を小さくします。
⑮ ボリューム+ボタン	端末の操作音および再生音量を大きくします。
⑯ 緊急通知ボタン	手動録画やコールセンターへの発信の際に使用します。(→別冊参照)

シガーライター電源ケーブル

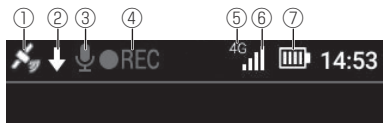


⑰ 給電インジケータ	お車からシガーライター電源ケーブルに、正しく給電されている場合は緑色に点灯します。
⑱ USB Type-C 端子	⑥ USB Type-C 電源端子 (DC IN 5V) に接続します。

ホーム画面に表示されるアイコンについて

「ホーム画面」* 上部のステータスバーにはさまざまなアイコンが表示され、内蔵バッテリーの残量や通信状況など端末の状態を確認できます。

*画面上部にアイコンのみが表示されている状態の画面です。



①		GPS 電波強度
		GPS 測位不能
②		アップデートデータのダウンロード中
		アップデートデータがダウンロード済み、次回起動時アップデート
③		マイクミュートボタンで消音中
		録音中
		録音停止中
④		イベント録画中
		常時録画中
		録画機能を利用できない状態
⑤		モバイルネットワークの種類
⑥		通信の電波強度
		通信圏外
⑦		内蔵バッテリーの充電状況

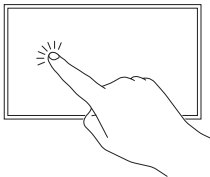
①～④のアイコンの順は図のとおりにならない場合があります。

タッチパネルで操作する

画面をタップやドラッグすることで、さまざまな画面の操作ができます。操作方法は以下のとおりです。

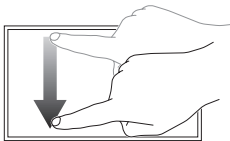
■タップ

メニュー項目やアイコンを指で軽くたたきます。



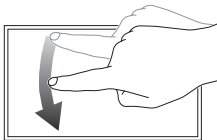
■ドラッグ

タップしたまま、目的の場所まで指をスライドします。



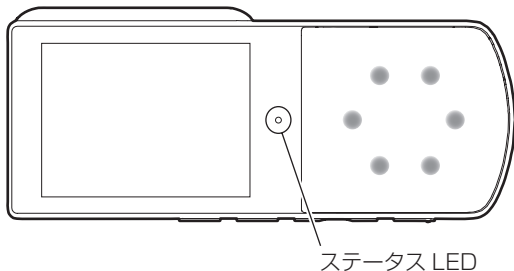
■フリック

タップしたまま、移動したい方向へ指を軽くはじきます。



ステータス LED の表示について

端末の状態をステータス LED の表示で確認できます。

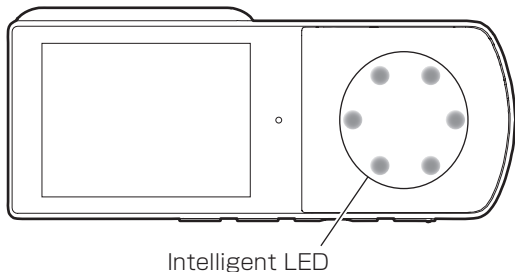


端末の状態	LED 表示
システム起動中	緑点灯
常時録画中	赤点灯*
イベント録画中	橙点灯
録画なし：録画不可能 (内蔵バッテリーのみで起動中、microSD カードの異常／未挿入／初期化中、など)	緑点滅
スリープ状態中または電源オフ時	消灯

* 常時録画中にイベント録画が発生したときは、橙点灯に切り替わります。

Intelligent LED の表示について

端末の状態を Intelligent LED の表示で確認できます。



端末について

端末の状態	LED 表示
衝撃検知機能 (→P.37) が働いたとき	赤点滅*
ドライブサポート機能 (→P.31)、危険運転警告機能 (→P.37) が働いたとき	橙点滅*
ユアアラート機能 (→P.30) が働いたとき	黄点滅
初回起動ウィザードや設定メニューの表示中、手動録画中	白回転
異常状態、エラーメッセージ表示中	赤回転 (早い)
サービス停止中、ACC ON 状態、PC 接続モード時	橙回転 (ゆっくり)

* 衝撃や挙動が大きいほど、点滅の間隔が短くなります。

日常の運転時の機能

利用場面に応じ、端末は以下の機能を提供します。

- 運転開始時の機能
 - ユアメッセージ
→ P.29の「ユアメッセージ」
- 運転中の機能
 - 映像記録機能
→ P.39の「ドライブレコーダー機能（映像記録機能）について」
 - レーンキープサポート機能
→ P.32の「レーンキープサポート機能について」
 - 前方車両接近警告機能
→ P.34の「前方車両接近警告機能について」
 - 危険運転警告機能
→ P.37の「危険運転警告機能」
 - 衝撃検知機能
→ P.37の「衝撃検知機能」
 - ユアアラート
→ P.30の「ユアアラート」

端末の使い方（サービスの開始と終了）

端末を利用するには、取付説明書の「端末の取り付け方」に従って取り付け、初期動作確認を行った後、ご利用ください。

サービスの開始から終了まで

1 付属のシガーライター電源ケーブルのシガープラグをお車のシガーソケットまたはアクセサリソケットに接続します

2 お車のエンジンをかけます

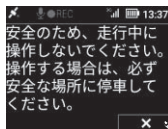
お車のエンジンと連動して、端末の電源がオンになります。電源がオンになると起動します。お車のエンジンをかけるときは、端末の【電源】ボタンに触れないようにしてください。

メモ

- 端末に異常などがあるときに、メッセージが表示されることがあります。→ P.59の「エラーメッセージ」

3 起動時コーションが表示されます

コーションの読み上げが終わってからしばらくすると、次の画面へ切り替わります。[×]をタップすると、次の画面に進みます。



4 ユアメッセージ (→ P.29) が表示されます

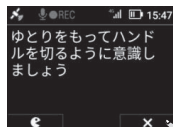
メッセージの読み上げが終わってからしばらくすると、次の画面へ切り替わります。

メッセージを再度お聞きになりたいときは、**[🔊]** をタップしてください。

上下にフリックすると画面がスクロールします。

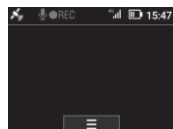
[×] をタップすると、次の画面に進みます。

使用開始から累積走行距離が 10 km を超えるまでは、画面の表示および音声メッセージは流れません。



5 **[☰]** (メニューアイコン) が表示されたら利用開始可能です

運転をお楽しみください。



6 運転が終了したら、お車のエンジンを切ります

端末がスリープ状態になります。

お車のエンジンをかけると、スリープ状態を解除し端末の電源を再びオンにできます。

⚠ 注意

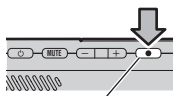
- お車のエンジンを切っても、端末がスリープ状態にならない車種（常時電源車など）の場合、端末を利用しないときは必ずシガーソケットまたはアクセサリースOCKETからシガープラグを抜いてください。抜き忘れるとお車のバッテリー上がりの原因となります。
- 車内や端末周辺の温度が高い場合、以下の製品保護機能が動作することがあります。
 - 端末の電源をオンにできない。
 - 端末を利用しているときに、電源が自動でオフになる。その場合は、温度が十分に下がってから端末の【電源】ボタンを3秒以上押し、電源をオンにしてください。

✎ メモ

- 端末は、内蔵バッテリーにより付属のシガーライター電源ケーブルを接続していない状態でも一部の機能は動作します。ただし、内蔵バッテリーは、万が一事故に遭われた際、シガーライター電源ケーブルが外れた状態でも電池がある限りは録画を行えるようにするためのものです。付属のシガーライター電源ケーブルを接続してご利用ください。
- 内蔵バッテリーのフル充電までの時間は最短約2時間*ですが、端末の状態や端末周辺の環境により、充電に時間がかかったり充電されなかったりする場合があります。なお、内蔵バッテリーは使用していなくても消耗します。
 - * 新品状態で、端末周辺の温度が25℃の場合
- お車の利用状態により端末の温度が上昇した場合、一部機能を制限することがあります。
- 端末をはじめてご使用になる場合は、起動後に初回起動ウィザードが表示されます。画面に表示される指示および取付説明書の説明をご覧ください。→取付説明書の「端末の取り付け方」
- お車のエンジンをかけた状態でシガーライター電源ケーブルを抜くと、端末がスリープ状態になります。再度差し込むと動作を再開します。
- 端末が起動した際にメッセージや設定を行う画面が表示された場合は、画面の表示に従って操作してください。

手動で録画する

【緊急通知】 ボタンを押すと、端末のカメラや別売のバックカメラユニットやフロアカメラユニットで撮影した録画映像を、イベント録画として保存できます（録画時間は別冊を参照ください）。



【緊急通知】 ボタン

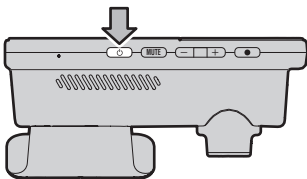
端末の電源をオフにする

端末を長期間使わない場合や、microSD カードを交換する場合は、端末の電源をオフにしてください。

1 お車のエンジンを切ります

2 【電源】 ボタンを 2 秒以上押し続けます

画面に何も表示されていない場合は、【電源】 ボタンを一度押してから、操作してください。



3 [はい] をタップします

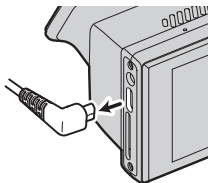
シャットダウン中の画面表示が消えたら、電源オフ完了です。



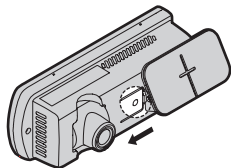
端末本体の取り外し方

お買い上げ時は、取付ブラケットが端末本体に取り付けられています。端末を車に取り付けた後は、下記の手順で取付ブラケットから端末本体を取り外します。

- 1 付属のシガーライター電源ケーブルの USB Type-C 端子を端末上面の電源端子 (DC IN 5V) から抜きます



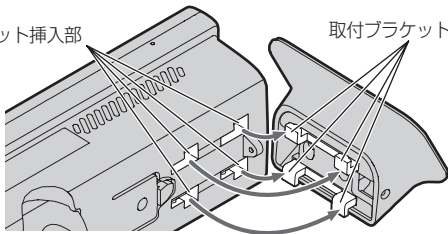
- 2 端末背面の中央部 (右図点線部) を押しながら、端末本体をカメラ側にスライドさせます



- 3 取付ブラケットの突起部が端末本体の取付ブラケット挿入部から抜けるように取り外します

取付ブラケット挿入部

取付ブラケット突起部



取り付けるときは上記とは逆の手順で、取付ブラケット突起部を端末本体の取付ブラケット挿入部に合わせてはめ込み、取付ブラケットをカメラレンズ側にスライドさせます。端末背面中央部のフックが取付ブラケットに引っかかっていることを確認してください。

外部入力用ケーブルを使う

別売の外部入力用ケーブル RD-OP005 を使うと、外部カメラの映像を録画したり、速度や走行距離を検出できます。

サブカメラを使う

別売のバックカメラユニットやフロアカメラユニットの映像を、サブカメラとして端末に入力して録画できます。

■サブカメラの設定をする

サブカメラの映像を録画するときは、[録画対象カメラ] (常時録画設定) および [録画対象カメラ] (イベント録画設定) を下記のいずれかに設定してください (→P.51)。

[メイン/サブカメラ]: メインカメラとサブカメラの両方の映像を録画するときに選びます。

[サブカメラ] : サブカメラの映像のみを録画するときに選びます。

また、下記の項目でサブカメラの画質を調整してください (→P.50)。

- サブカメラ録画品質
- サブカメラ露出補正

■サブカメラの撮影範囲を確認、調整する

サブカメラの撮影範囲を確認するためには、[撮影範囲確認] で [] を押して、サブカメラ映像を表示して調整してください。



■メインカメラとサブカメラの映像を切り換えて再生する

再生前に [] をタップすると、メインカメラとサブカメラの映像が切り換わります。



⚠ 注意

サブカメラの信号が入力されていないとき

- 撮影範囲確認画面
黒画面が表示されます。
- 常時録画映像 / イベント録画映像
黒画面で録画されます。

速度や走行距離を検出する

車の車速パルス信号を入力すると、車の速度や走行距離を検出できます。車速パルス信号から端末が学習を続けると、速度や走行距離の精度が向上します。

■速度検出方法を設定する

[速度検出方法] を下記のいずれかに設定してください (→ P.52)。

[車速パルスのみ] : GPS を使用しないで、車速パルス信号のみで速度を検出するときに選びます。

[ハイブリット] : GPS と車速パルス信号の両方で速度を検出するときに選びます。

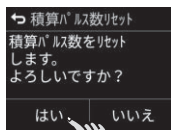
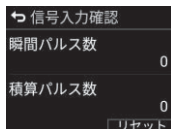
■車速パルス信号の入力状態を確認する

[信号入力状態] (→ P.48) を選ぶと、車速パルス信号の入力状態が表示されます。

● 現在入力されている車速パルスの数が、[瞬間パルス数] に表示されます。

● 現在までに入力された車速パルスの数が、[積算パルス数] に [0] から [9999999] の範囲で表示されます。パルス数が [9999999] を超えたときは [0] に戻ってカウントを続けます。(積算パルス数の [9999999] は、4 パルス車でおおよそ 4000 km 分になります。)

● [リセット] をタップすると、積算パルス数をリセットします。右の確認画面で [はい] をタップしてください。

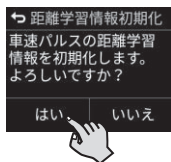


■距離の学習状況を確認する

[距離学習状態] (→ P.48) を選ぶと、車速パルス信号による距離の学習状況が表示されます。

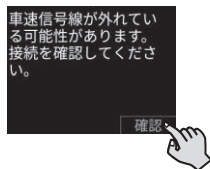


- 端末を載せ替えたときは [初期化] をタップして、距離学習情報を初期化してください。右の確認画面で [はい] をタップしてください。



■ 車速パルス信号が入力されていないとき

右の画面が表示されます。[確認] をタップして、車速パルス信号の接続を確認してください。



Intelligent Pilot

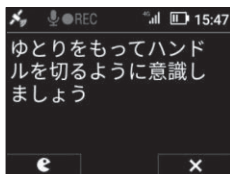
Intelligent Pilot は、事故多発地点、ヒヤリハット地点などのプローブデータ、天候・時間帯、そのドライバーの運転傾向から統合的に事故や危険を予測し、現在の状況に合わせて注意喚起と警告をする先進的な運転支援システムです。

端末の使い方

ユアメッセージ

端末の起動時に、これまでの運転傾向を診断し、その運転特性に合わせた安全運転を促す音声メッセージと画面表示を行います。

<ユアメッセージの例>



メモ

- 使用開始から累積走行距離が 10 km を超えるまでは、画面の表示および音声メッセージは流れません。
- 端末の設定を初期化 (→ P.48) した場合、累積走行距離は 0 km に戻り、再度運転傾向の蓄積を行います。

事故予防・事故防止支援機能

ユアアラート

運転中の天候・時間帯およびお客様の運転状況（走行速度・過去の運転特性）をもとに、リアルタイムに事故リスクの高い地点を予測し、音声メッセージと画面表示により注意喚起を行います。

<ユアアラートの例>



メモ

- 過去の運転特性は、直近約 100 km の走行をもとに算出しております。累積走行距離が約 100 km 以下の場合は、運転傾向の蓄積を行います。
- 端末の設定を初期化（→P.48）した場合、累積走行距離は 0 km に戻り、再度運転傾向の蓄積を行います。

ユアアラートに関するご注意

- ユアアラートは以下の場合、動作しません。
 - － 通信圏外の場合
 - － トンネルの中など GPS を受信していない場合（→P.11）

ドライブサポート機能

端末のカメラで撮影した映像を解析し、危険な運転を行っているときに画像や音声メッセージと警告音などで注意喚起します。

本機能はカメラからの画像情報を用いて判断をするため、端末の取り付けおよび設定の状況や走行環境（天候、時間帯や道路状況など）の影響により、正しく動作しない場合があります。

そのため、必ずお客様の目で周囲の状況を把握し、安全を確認しながら運転してください。

ドライブサポート機能を正しく機能させるため、ご利用になる前に以下をご確認ください。

● 端末の取り付けおよび設定を適切に行ってください。詳しくは→取付説明書の「端末の取り付け方」をご覧ください。

－ 取り付け指定位置に取り付けてください。（たとえばワイパーの拭取り範囲外などでは降雨時に機能が正しく動作しない原因となる可能性があります）

－ お車を平らな場所に停車させた状態で、撮影範囲確認画面（→P.51）の十字中央をお客様のお車前方中央に合わせ、空と地面が均等になるようにカメラレンズの角度を調整してください。また、画面下部の緑色の範囲に白いバーが入る位置、角度で取り付けてください。[各種設定]から確認・調整することもできます。（→P.46）

－ 地上から端末のカメラレンズの中心までの高さを正しく設定してください。[各種設定]から確認・調整することもできます。（→P.46、P.49）

－ フロントガラスの中心から端末のカメラレンズの中心までの距離を正しく設定してください。[各種設定]から確認・調整することもできます。（→P.46、P.49）

● 端末を取り付けた直後やカメラレンズの角度を変えて走行したときには、消失点学習を行います。

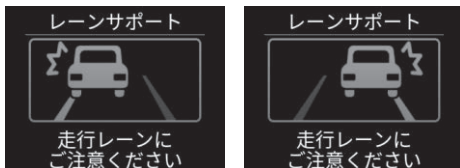
消失点学習の完了には、両側に白線もしくは黄線のある道路を実際に走行して頂く必要があります。消失点学習完了までに必要な時間は走行時の環境によって異なりますが、およそ5～6分で完了します。

それでも正しく動作しない場合は、消失点学習を初期化してから再度消失点学習を行ってください。（→P.46、P.50）

- ダッシュボード上には明るい色のものを置かないでください。ダッシュボード上に明るい色のものを置くと、フロントガラスに反射してカメラ映像に写り込み、誤認識の原因となる場合があります。
- 露出補正 (→P.50) の設定を変更するとドライブサポート機能に影響が出ることがあります。正しく作動しない場合には、初期値の0に戻してお試しください。

レーンキープサポート機能について

運転中に走行レーンを認識することでお車の片寄り走行を検知し、注意喚起します。



メモ

- レーンキープサポート機能は、約 50 km/h 以上で運転中に、お車が約 3 秒間以上左右のどちらかに片寄って走行していると端末が判断したときに注意喚起を行います*。
 - 一度注意喚起が行われると、約 30 秒間が経過するまで次の注意喚起を行いません*。
 - 本機能は、走行レーンの両側に白線もしくは黄線がある場合に、動作可能です。
 - レーンキープサポート機能が働いた前後の時間を、イベント録画するように設定できます。(→P.49)
- * 端末の動作状況によっては上記のとおりにならない場合もあります。

レーンキープサポート機能に関するご注意

- レーンキープサポート機能は以下の場合、動作しません。
 - － レーンサポートが OFF に設定されている場合 (→ P.49)
 - － ステータス LED が消灯の場合 (→ P.18)
 - － ドライブレコーダーの設定を行う画面の表示中 (→ P.46)
 - － バッテリーモード (ACC OFF) 時
 - － トンネルの中など GPS を受信していない場合 (→ P.37)
外部入力用ケーブル RD-OP005 を接続して、車速パルスからの車速を使用できる場合は動作します。
 - － お車が約 50 km/h 未満で走行中の場合
 - － お車のご利用状態により端末の温度が上昇した場合

- 以下のような状況では、レーンキープサポート機能が正しく動作しない場合があります。
 - ① カメラがレーンキープサポート機能に必要な情報を撮影できない場合
 - － 走行レーンの左右にある白線もしくは黄線が、両側または片側に無い場合
 - － 走行レーンの左右にある白線もしくは黄線が、かすれて見えにくい場合
 - － 強い光や陰、暗い所、対向車のヘッドライトなど、光の加減により、白線を正しく検知できない場合
 - － 天候（雨、雪、濃霧など）やお車の走行環境（道路の起伏が激しい場合など）により、白線を正しく検知できない場合
 - ② カメラに誤認識する物が写っている場合
 - － 車内にある備品、フロントガラスへの貼付物などが映像に写り込んでいる場合
 - ③ カメラが認識するべき対象物に急な変化が生じる場合
 - － 急カーブ、交差点、合流、分岐、車線減少、車線増加など、走行レーンの幅に急激な変化があるなどの場合

- イベント録画は以下の場合、録画されません。
 - － イベント録画が OFF に設定されている場合
 - － ステータス LED が緑点滅の場合

前方車両接近警告機能について

運転中に同一走行レーンの前方車両を認識することでお車との距離が接近したことを検知し、注意喚起します。

注意喚起がされないように適切な車間距離を保って運転していただくことで、安全運転にお役立ていただくことができます。

注意喚起後のブレーキ操作により衝突を回避・軽減することを主な目的とした機能ではありません。また、前方衝突事故の防止を保証するものではありません。また、すべての危険を警告するものではありません。

- 一度注意喚起が行われると、約 10 秒間が経過するまで次の注意喚起を行いません。



あおり運転予防機能について

前方車両接近警告機能の代わりに、あおり運転予防機能をご利用いただくことができます。

運転中に同一走行レーンの前方車両に継続的に接近してしまい、前方車両からあおり運転とみなされる可能性がある場合に注意喚起します。



メモ

- 本機能は、端末が検知する走行速度が 30 km/h 未満では動作しません（端末の動作状況によっては動作することもあります）。
- 前方を走る二輪車の認識・接近警告は本機能の対象外です。
- 本機能は GPS から取得される速度を用いているため、実際の走行速度と最大で 1 秒程度の遅延が生じます。すでに減速するなど衝突のおそれが減少した場合でも、タイミングがずれて注意喚起する場合があります。
- 前方車両接近警告機能、またはあおり運転予防機能が働いた前後の時間を、イベント録画するように設定できます。（→ P.37）

前方車両接近警告機能 / あおり運転予防機能に関するご注意

- 前方車両接近警告機能 / あおり運転予防機能は以下の場合、動作しません。
 - － [警告モード]（→ P.49）が OFF に設定されている場合
 - － ステータス LED が消灯の場合（→ P.18）
 - － ドライブレコーダーの設定を行う画面の表示中（→ P.46）
 - － バッテリーモード（ACC OFF）時
 - － トンネルの中など GPS を受信していない場合（→ P.37）
外部入力用ケーブル RD-OP005 を接続して、車速パルスからの車速を使用できる場合は動作します。
 - － [端末取付け高さ]（→ P.49）が 100 cm ～ 200 cm の範囲に設定されていない場合
 - － お車が約 30 km/h 未満で走行中の場合
 - － お車が減速中の場合
 - － お車のご利用状態により端末の温度が上昇した場合
- 以下のような状況では、前方車両接近警告機能 / あおり運転予防機能が正しく動作しない場合があります。
 - ① 端末の取り付け高さが 100 cm ～ 200 cm の範囲に取り付けられていない場合
 - ② カメラが前方車両接近警告機能 / あおり運転予防機能に必要な情報を撮影できない場合
 - － 走行する道路の左右に白線もしくは黄線がなかったり、境目がはっきりせず、道路を正しく検知できない場合

- 前方車両の形状や色が前方車両として検知できない場合
 - 強い光や陰、暗い所、対向車のヘッドライトなど、光の加減により、前方車両を正しく検知できない場合
 - 天候（雨、雪、濃霧など）やお車の走行環境（道路の起伏が激しい場合など）により、前方車両を正しく検知できない場合
- ③カメラに誤認識する物が写っている場合
- 隣の走行レーンの車両が写っている場合
 - 道路脇の物体や道路上の影が写っている場合
 - 車内にある備品、フロントガラスへの貼付物などが映像に写り込んでいる場合
- ④カメラが認識するべき対象物に急な変化が生じる場合
- お車の前方に車が割り込んだ場合
 - お車が走行レーンの変更をしている場合
 - 急カーブ、交差点、合流、分岐、車線減少、車線増加など、前方車両を正しく検知できない場合
- イベント録画は以下の場合、録画されません。
- イベント録画が OFF に設定されている場合
 - ステータス LED が緑点滅の場合

危険運転警告機能

端末が危険運転を検知した際、画面表示と警告音などで注意喚起します。
<危険運転警告の例>



メモ

- 画面表示は、約 4 秒経過後に元の画面に戻ります。
- 危険運転と判断されるのは、急アクセル、急ブレーキ、急ハンドルです。

衝撃検知機能

端末が衝撃を検知した際、画面表示と警告音などで通知します。

<衝撃検知の例>








メモ

- 画面表示は、約 4 秒経過後に元の画面に戻ります。

衝撃と録画の関係について

端末の映像記録機能は以下の表のように、端末の衝撃検知と連動して動作します。詳しくは各機能をご確認ください。

検知レベル	イベント	画面表示	想定する場面	録画の種類
5	衝撃検知		エアバッグが作動したとき	イベント録画
4			ロードサービスが必要な衝撃のとき	
3			自走は可能だが、衝撃の要因の録画が必要なとき	
2	危険運転警告		事故につながる可能性があった危険運転のとき	常時録画のみ
1			事故が発生しないように走行することが望ましいとき	

* 上記は一例です。実際の検知時の状況とは異なります。

ドライブレコーダー機能 (映像記録機能)

ドライブレコーダー機能 (映像記録機能) について

端末のカメラで撮影したお車前方の録画映像を、microSD カードに保存できます。また、保存した録画映像は端末や mp4 ファイル動画再生に対応しているパソコンで再生できます。

録画映像は次の 2 通りあります。

● イベント録画

お車の片寄り走行や前方車両接近検知時の前後の状況を自動で録画が可能です (録画時間は別冊を参照ください)。

● 常時録画

お車のエンジンをかけて数十秒後からエンジンを切るまで (端末の電源オンからスリープ状態まで) の間の状況を常に録画します。

📎 メモ

- microSD カードに保存できるイベント録画映像の件数は、制限されています。最大件数は、別冊を参照ください。
- 保存されたイベント録画映像が最大件数を超えると、古いイベント録画映像から順に上書きします。上書きしたくない録画映像をロックして保護することができます。
- 一部のイベント録画に関しては、microSD カードに保存できないときに、端末内部のメモリーに保存します (フェールセーフ録画)。50 件保存できますが、上限を超えた場合は古い録画映像から順に上書きされます。端末内部のメモリーに記録された映像は、新しい microSD カードを挿入したり microSD カードを初期化したりすると、microSD カード側に書き出されます。
- ロックされたイベント録画映像の件数が最大になると、イベント録画ができなくなります。このときは、ロックされた録画映像で不要なものを削除するか、ロックを解除してください (最大件数は別冊を参照ください)。
- 常時録画された映像が、microSD カードへの保存可能領域の上限に達すると、古い録画映像から順に上書きします。
- イベント録画、常時録画共に、任意で選んだ映像を削除することもできます。

ドライブレコーダー機能に関するご注意

- 走行中は安全性の観点から画面に映像が映らない仕様になっております。
- 次のような場合、録画を開始することができなかつたり、録画が中断されることがあります。
 - － 露出補正や撮影範囲確認（→P.50）のためカメラ映像を表示しているとき
 - － 画質設定の変更を行ったとき
 - － 端末の設定を初期化しているとき
 - － microSD カードの初期化を行っているとき
 - － microSD カードが入っていないか、microSD カードに異常が発生したとき
 - － 端末のアップデートを行っているとき
 - － 端末を手動で電源オフさせたとき
 - － 端末の温度が上昇し、システムの保護のため自動で電源オフしたとき
 - － 【電源】 ボタンを長押しして再起動したとき
- microSD カードは消耗品です。「microSD カードの異常を検知しました。一度エンジンを切り、microSD カードを抜き差ししてください。」のメッセージの表示が繰り返される場合には、別冊を参照いただき、所定のコールセンターへご連絡ください。
- microSD カードは 2 週間に一度を目安に初期化することをお勧めします。microSD カードを初期化すると、録画した映像ファイルなど microSD カードに記録されたデータがすべて消失します。必要に応じて記録されたデータのバックアップを作成してから、microSD カードを初期化してください。
- microSD カードの消耗に起因する故障または損傷については、製造元は一切の責任を負いません。
- 端末で録画した映像を取り扱う際は、被写体のプライバシーなどを侵害しないよう十分にご配慮ください。また、お客様の責任でお取り扱いください。
- 端末はすべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 端末が記録した映像やデータは、事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- LED 式信号機を撮影すると、信号機が点滅しているように撮影されたり、ちらついたりする場合があります。
- 道路の段差を越えるときに生じる振動を、衝撃として検知し、イベント録画を行う場合があります。

- 常時録画の最大時間を超えて、端末の電源を連続してオン状態にした場合、録画された常時録画映像が [ファイル閲覧] - [常時録画] の一覧に表示されない場合があります。その際は、パソコンで下記に記載の microSD カードの常時録画の保存先の映像ファイルをご確認ください（常時録画の最大時間は別冊を参照ください）。
- 重大事故による端末損傷など、お車だけでなく内蔵バッテリーからの電源も断たれた場合、録画できません。また、microSD カード内に記録されているデータが破損してしまう可能性があります。
- 破損したデータや消去したデータの復元サービスは行っておりません。
- 端末の故障や端末使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの損傷、破損による損害については、提供元および製造元は一切その責任を負いません。
- ドライブレコーダー機能で録画された映像は、安全のため走行中は再生できません。
- 端末などの破損、故障が生じた場合や、盗難・紛失に遭われた際は、別冊を参照いただき、所定のコールセンターへ速やかにご連絡ください。

録画された映像の取り扱いについて

- ドライブレコーダー機能で録画された映像は「MP4」形式（拡張子が「.mp4」）の映像ファイルとして microSD カードに保存されます。
- microSD カード内の映像ファイルの保存先は次のとおりです。

イベント録画

メインカメラ：Movies\DriveRecorder\DrvRec\EvtRec\Main

サブカメラ：Movies\DriveRecorder\DrvRec\EvtRec\Sub

常時録画

メインカメラ：Movies\DriveRecorder\DrvRec\RegRec\Main

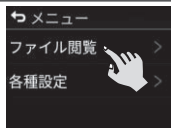
サブカメラ：Movies\DriveRecorder\DrvRec\RegRec\Sub

- 映像処理中のファイル（拡張子が「.tmp」）や管理用のファイルが、microSD カードの中に残ることがあります。それらのファイルを移動、削除はしないでください。

1 [☰] をタップします

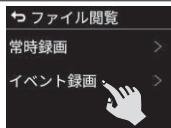


2 [ファイル閲覧] をタップします



3 再生したい録画の種類を選んでタップします



録画された映像の一覧が表示されます。



4 再生したい映像を選んでタップします



メモ

- ロックされている映像のサムネイルには  が表示されます。
- 時限ロック機能*により一時的にロックされている映像のサムネイルには  が表示されます。

*時限ロック機能とは、時限ロック対象のイベント録画映像を自動的にロックし、上書きされないように一定期間保持する機能です（期間は別冊を参照ください）。

5 [▶] をタップします

選んだ映像が再生されます。

- 再生前に [🔒] / [🔓] をタップすると、録画映像のロック/ロック解除ができます。常時録画の映像はロックできません。
- 再生前に [📷] をタップすると、メインカメラとサブカメラの映像が切り替わります。
- 再生前に [🗑️] をタップすると、録画映像を削除できます。メインカメラとサブカメラを録画対象カメラに設定している場合、メインカメラとサブカメラの両方の映像が削除されます。片方の映像だけを削除することはできません。



例：イベント録画映像の再生中


- [⏸] をタップすると再生を一時停止します。
- [⏩] または [⏪] をタップすると、早送り/早戻し再生します。
- [⏩] または [⏪] をタップするごとに早送り/早戻しの速度が変わります。
- 緑色のバーを左右に動かすと、動かした位置から再生します。



6 [⏪] をタップすると再生を終了し、前の画面に戻ります



録画した映像を削除する

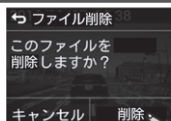
- 1 録画した映像の一時停止中画面で
[] をタップします



メモ

- ロックされた録画映像の場合、ロックを解除するまで  は表示されません。

- 2 [削除] をタップします
削除を中止するときは [キャンセル] を選んでください。



メモ

- メインカメラとサブカメラを録画対象カメラに設定している場合、メインカメラとサブカメラの両方の映像が削除されます。片方の映像だけを削除することはできません。
- 複数ファイルをまとめて削除することはできません。

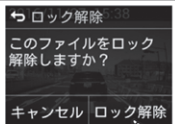
イベント録画映像を手動でロック／ロック解除する

- 1 イベント録画された映像の一時停止
中画面で [🔒] または [🔓] をタップ
します



- 2 [ロック] または [ロック解除] をタップ
します

ロック／ロック解除を中止するときは
[キャンセル] を選んでください。



📝 メモ

- メインカメラとサブカメラを録画対象カメラに設定している場合、メインカメラとサブカメラの両方の映像がロック／ロック解除されます。片方の映像だけをロック／ロック解除することはできません。
- 複数ファイルをまとめてロック／ロック解除することはできません。
- 古い映像をロック解除した場合は映像が削除される可能性があります。
- 時限ロックは手動で設定できません。

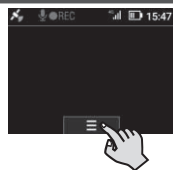
ドライブレコーダーの設定

端末に関する設定をします。

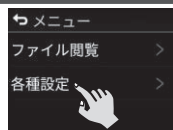
- 必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。
- 設定画面表示中は、画面により録画機能が停止しますのでご注意ください。

各種設定を変更する

1 [☰] をタップします

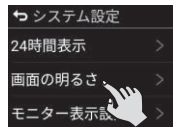
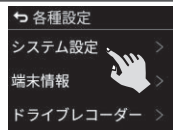


2 [各種設定] をタップします



3 変更したい項目をタップします

ひとつ前の画面に戻るには [⏪] をタップします。



4 設定値を選んでタップします



5 画面にしたがって [決定]/[確認]/[×]などをタップします

設定を終了するとき、ホーム画面に戻るまで [↩] をタップします。



設定項目一覧

- **太字**はお買い上げ時の設定値です。
- 本書に記載されていない設定項目については、別冊を参照してください。

システム設定

設定項目	設定内容	設定値
24 時間表示	24 時間表示にするときは [ON] にします。	[ON]/[OFF]
画面の明るさ		
明るさの自動調節	周りの明るさに合わせて、液晶モニターの明るさを自動で調節するときは [ON] にします。	[ON]/[OFF]
明るさ設定	液晶モニターの明るさを設定します。	[1]/[2]/[3]/[4]/[5]
モニター表示設定	端末の電源をオンにした後に、液晶モニターをどのように表示するか設定します。 お車のご利用状態により端末の温度が上昇すると、システムの保護のため液晶モニター表示を制限する場合があります。 [10 秒後 OFF]/[1 分後 OFF]/[3 分後 OFF]：端末が操作されずに指定の時間が過ぎたときは、画面を消します。 [表示連動]：端末が操作されずに指定の時間が過ぎたときは、画面を消します。ただし画面が消えていても、画面表示を行うイベントを検知した場合は、画面をオンにして画面表示を行います。	

設定項目	設定内容	設定値
表示連動設定	モニター表示設定で [表示連動] を選んだときに、画面が消えるまでの時間を設定します。	5 秒～ 60 秒 初期値：10 秒
Intelligent LED	Intelligent LED を点滅させるときは、[ON] にします。	[ON]/[OFF]
SD カード初期化	microSD カードを初期化します。カード内のすべてのファイルが削除されます。	
設定初期化	ユーザーが設定した端末設定を初期化します。累積走行距離は 0 km に戻り、再度運転傾向の蓄積を行います。録画ファイルを含む、microSD カードの内容は初期化されません。	

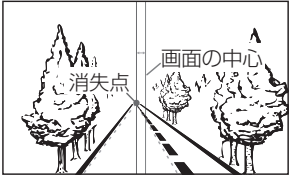
端末情報

表示項目	表示内容
測位状態	GPS 測位の状態、および使用している衛星の数と実際に受信している衛星の数を表示します。
車速パルス状態	
信号入力状態	車速パルス信号の入力状態を表示します。
距離学習状態	走行距離の学習状態を表示します。
バッテリー状態*	バッテリー充放電回数を表示します。また、バッテリーを交換した場合にのみ、充放電回数をリセットして 0 に戻します。バッテリー交換時以外は、リセットしないでください。
SIM ステータス	ネットワーク、電波強度、ネットワークの種類、サービスの状態、ローミングの状態、ネットワークの状態を表示します。
SIM 情報	電話番号、ICCID を表示します。
IMEI 番号	端末の識別番号 (IMEI 番号) を表示します。
法的情報	
ライセンス情報	端末に使われているソフトウェアの利用許諾 (ライセンス) を表示します。
認証情報	認証情報を表示します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

* 事業者向けモデルには、この項目が表示されないモデルがあります。

ドライブサポート

設定項目	設定内容	設定値
レーンサポート		
レーンサポート	レーンキープサポート機能を使用するときは [ON] にします。	[ON]/[OFF]
レーンサポート通知		
通知：表示	レーンキープサポートの警告を、表示で通知するときは [ON] にします。	[ON]/[OFF]
通知：通知音	レーンキープサポートの警告を、通知音で通知するときは [ON] にします。	[ON]/[OFF]
通知：音声	レーンキープサポートの警告を、音声で通知するときは [ON] にします。	[ON]/[OFF]
イベント録画	レーンキープサポートの警告機能が働いたときに、イベント録画するときは [ON] にします。	[ON]/[OFF]
前方車両接近警告		
警告モード*	前方車両に近づき過ぎたことを検知するときは [前方車両接近警告] を、前方車両からあおり運転とみなされる運転をしていることを検知するときは [あおり運転予防] を選びます。	[前方車両接近警告] / [あおり運転予防] / [OFF]
前方車両接近警告通知		
通知：表示	前方車両接近警告を表示で通知するときは [ON] にします。	[ON]/[OFF]
通知：通知音	前方車両接近警告を通知音で通知するときは [ON] にします。	[ON]/[OFF]
通知：音声	前方車両接近警告を音声で通知するときは [ON] にします。	[ON]/[OFF]
イベント録画	前方車両接近警告機能が働いたときに、イベント録画するときは [ON] にします。	[ON]/[OFF]
端末取付け高さ	[-] / [+] をタップして、地面から端末のカメラレンズまでの高さを設定します。設定が終わったら [決定] をタップします。	100 cm ~ 350 cm 初期値： 140 cm
端末取付け位置	[←] / [→] をタップして、フロントガラスの中心から端末のカメラレンズまでの距離を設定します。左右については車内から見てフロントガラスの中心からどちらにあるかで設定します。設定が終わったら [決定] をタップします。	左 99 cm ~ 右 99 cm 初期値： 0 cm

設定項目	設定内容	設定値
消失点学習初期化	<p>消失点とは、風景や直線の道路などが遠くなるほど小さくなり、やがては点に収束してしまう点のことで、レーンキープサポート機能では走行レーン、前方車両接近警告機能では前方車両を認識するために利用しています。</p>  <p>レーンキープサポート機能や前方車両接近警告機能が正しく動作しない場合は、消失点学習を初期化したのち、しばらく走行して再学習させてください。</p>	

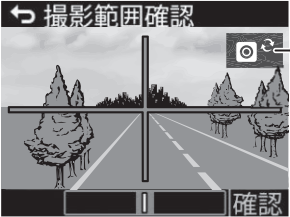
* モデルによって、お買い上げ時の設定が異なります。別冊を参照ください。

Intelligent Pilot

設定項目	設定内容	設定値
ユアアラート通知	危険地点接近警告の表示、通知音、音声で通知をするときは [ON] にします。	[ON]/[OFF]
ユアメッセージ通知	端末の起動時にパーソナルメッセージを表示や音声で通知するときは [ON] にします。	[ON]/[OFF]

ドライブレコーダー

設定項目	設定内容	設定値
録画共通設定		
録画品質	メインカメラの録画品質を設定します。	[高画質]/[標準]/[長時間]
WDR (Wide Dynamic Range)	[ON] に設定すると、メインカメラで明暗の差が大きい状況でも、自動で明るさを調整して録画します。	[ON]/[OFF]
露出補正	メインカメラの画像の明るさを調整する、露出レベルを設定します。	-1.0/-0.7/-0.3/ 0/+0.3/+0.7/ +1.0
サブカメラ 録画品質	サブカメラの録画品質を設定します。	[標準]/[長時間]

設定項目	設定内容	設定値
常時録画設定		
録画対象カメラ *	常時録画するカメラを設定します。	[メイン/サブカメラ][メインカメラ][サブカメラ]
イベント録画設定		
録画対象カメラ *	イベント録画するカメラを設定します。	[メイン/サブカメラ][メインカメラ][サブカメラ]
撮影範囲確認	<p>空と地面が上下均等になっていること、画面下の緑色の範囲に白いバーが入っていることを確認します。</p> <p>空と地面が上下均等になっていないときは、カメラレンズの角度を調整してください。画面下の白いバーが緑色の範囲に入っていないときは、端末を取り付け直す必要があります。→取付説明書の「端末の付け替えについて」をご覧ください。</p>	
	 <p>サブカメラを接続しているときは、カメラ切替ボタンが表示されます。タップするごとに、メインカメラとサブカメラの映像が切り換わります。調整が終わったら [確認] をタップします。</p>	

* 外部接続カメラをご利用にならない場合は、「録画対象カメラ」を「メインカメラ」へ変更して、外部接続カメラ（サブカメラ）の録画を無効にしてください。

センサ通知設定

設定項目	設定内容	設定値
速度検出設定		
速度検出方法	速度の検出方法を設定します。	[GPSのみ]/ [車速パルスのみ]/[ハイブリッド]
加速度センサ検知		
衝撃検知感度 *	端末が衝撃を検知する感度を設定します。数字が小さいほど、小さな衝撃まで検出可能になります。	[1 (検知しやすい)]/[2]/[3]/[4]/[5 (検知しにくい)]

* 選択できる感度の範囲は、仕向によって異なります。別冊を参照ください。

端末をアップデートする

端末起動時に、一日に一度、自動的に通信を利用したアップデートデータの確認が行われます。アップデートデータがある場合は、自動的にダウンロードが行われ、次回端末起動時にアップデートを行います。



メモ

- 通信圏外にいるときは、アップデートデータのダウンロードは行われません。
- アップデート状況は、「ホーム画面」上部のステータスバーに表示されるアイコンで確認できます。
- アップデート時に端末が複数回再起動することがあります。アップデート動作が終わるまで操作せずお待ちください。
- アップデートには数分かかることがあります*¹。アップデート中は、映像記録や事故連絡などの機能がご利用いただけません。可能であれば、お車を安全な場所に駐車し、エンジンを切らずにお待ちください*²。
- アップデート完了後に、端末が自動で再起動します。
 - * 1 アップデート時間はアップデート内容により異なります。
 - * 2 万が一、アップデート中にエンジンを切ってしまった場合は、次回起動時にアップデートを最初からやり直します。

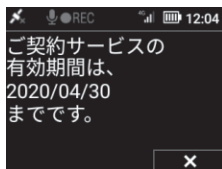
サービスの有効期間

サービスを解約したときに、サービスの終了日が設定されることがあります。

期間切れ予告メッセージ

サービスの終了日まで 30 日未満となった時点 / 10 日未満となった時点 / 前日の起動時の最大 3 回、サービスの有効期間が満了することを予告するメッセージが表示されます。

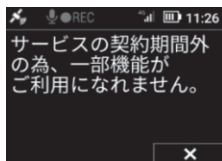
<期間切れ予告メッセージの例>



期間切れメッセージ

サービス終了日を過ぎると、起動時にサービス契約期間外を知らせるメッセージが表示されます。

<期間切れメッセージの例>



よくあるお問い合わせ (FAQ)

Q すべての衝撃がイベント録画されるのですか？

A 端末が衝撃を検知したときに録画します (→P.38)。ただし、以下のような低速かつ、車以外との接触など衝撃が小さいときは検知できないことがあります。

- 駐車場で人と接触
- 駐車場入り口で自転車と接触

Q 端末の通信機能や映像記録機能などが正常に機能しているか確認する方法はありますか？

A 「ホーム画面」に表示されるステータスバーのアイコンでご確認ください。(→P.16)

Q 映像を確認する方法はありますか？

A Windows 10 にインストールされている Windows Media Player 12 以降で再生できます。microSD カード内の Movies のフォルダー (→P.41) を確認してください。そのとき、常時録画ファイルは分割された複数のファイルとして表示されます。

Q microSD カードをテレビのカードスロットに挿しても映像が見られません。

A microSD カードに記録した映像は一部のテレビを除き、パソコンでしか確認できません。

Q 端末、シガーライター電源ケーブル、microSD カードなどの破損・故障が生じた場合や、盗難・紛失があった場合、どうすればいいですか？

A 別冊を参照いただき、所定のコールセンターへご連絡ください。

Q 両面テープが剥がれて端末が落下してしまいました。

A 別冊を参照いただき、所定のコールセンターへご連絡ください。

故障かな？と思ったら

端末の電源をオンにできるときは一度お車のエンジンを切って、再度エンジンをかけてから以下をご確認ください。それでも解決しないときは、別冊を参照いただき、所定のコールセンターへご連絡ください。

症状 エラーメッセージ「●●」が表示されます。

処置 →P.59の「エラーメッセージ」をご確認ください。

症状 端末の電源が入りません。

処置 お車のシガーライターにシガーライター電源ケーブルがきちんと接続できているか、および端末の USB Type-C 電源端子にシガーライター電源ケーブルの USB Type-C 端子が奥まで挿し込まれているか、ご確認ください。また、シガーライター電源ケーブルの給電インジケーターの点灯状態もご確認ください。

症状 端末の表示や動作がおかしくなっていました。

電源がオンの状態で、【電源】ボタンを 11 秒以上押し続けてください。端末がリセットされます。

症状 映像がはっきり映りません。

処置 フロントガラスやカメラに汚れがないか確認し、汚れがある場合は柔らかい布などで拭き取ってください。

症状 エンジンを切っても電源が切れません。

処置 エンジンを切っても、端末がスリープ状態にならない車種の場合、端末を使用しないときは必ずシガーライター電源ケーブルを車のシガーソケットまたはアクセサリソケットから抜いてください。抜き忘れると車のバッテリー上がりの原因になります。

症状 運転中に突然端末が再起動してしまいました。

処置 シガーライター電源ケーブルの接触不良により再起動することがあります。お車のシガーライターにシガーライター電源ケーブルがきちんと接続できているか、および端末の USB Type-C 電源端子にシガーライター電源ケーブルの USB Type-C 端子が奥まで挿し込まれているか、ご確認ください。

症状 端末の電源がたびたび切れます。

処置 端末の内蔵バッテリーの温度が上昇すると、システムの保護のため自動で電源が切れることがあります。端末の温度が低くなった状態で再度エンジンをかけていただくと、元の状態で動作します。

症状 レーンキープサポート機能の警告が頻繁に鳴る、またはまったく鳴りません。

処置 端末が正しく取り付けられているか確認してください。端末取り付け高さ・位置を正しく設定し、消失点学習初期化（→P.50）を行ってください（消失点学習リセット後、消失点学習のためにしばらく運転する必要があります）。また、カメラに汚れ・傷・遮蔽物がないか確認し、汚れや遮蔽物がある場合は拭き取ってください。

症状 映像が記録されていません。

処置 イベント録画の設定が OFF のときは、イベント録画には記録されません。常時録画ファイルの中に、事故の映像がないかご確認ください。(→P.42)

また、以下のケースでは映像が記録されません。

ケース 1：端末が起動していない場合

もし事故の瞬間、エンジンがかかっていたにも関わらず記録されていない場合は、端末に正しく給電されていない可能性があります。シガーライター電源ケーブルがきちんと接続できているかをご確認ください。また、エンジンをかけたときに、シガーライター電源ケーブルの給電インジケータが緑点灯になり、端末のステータス LED が赤点灯になることをご確認ください。

ケース 2：microSD カードに異常がある、または接触不良の場合
この場合、起動時に毎回エラーメッセージが表示されますので、表示に従って microSD カードを抜き差ししてください。

ケース 3：[露出補正]を調整している場合や、撮影範囲確認(→P.51)をしている場合

この場合は映像が撮れませんので、映像確認および端末の取り付けは安全な場所で行ってください。

エラーメッセージ

ご利用中にエラーメッセージが表示または音声出力された場合は下記をご確認ください。それでも解決しないときは、別冊を参照いただき、所定のコールセンターへご連絡ください。

端末を起動したとき

「端末の向きを変え、緑色の範囲内に白いバーが入るように角度を調整してください。次に、空と地面が上下均等となるようにカメラレンズの角度を調整してください。」

「端末が正しく取り付けられていない可能性があります。」

原因 取り付けられた端末の向きが正しくない可能性があります。

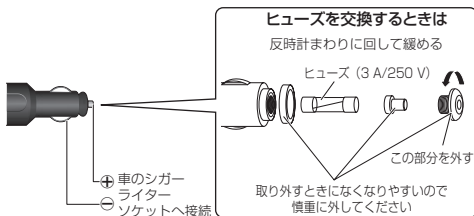
処置 画面下の白いバーが緑色の範囲に入っていないときは、端末を取り付け直す必要があります。→取付説明書の「端末の付け替えについて」をご覧ください。

「給電が検知できないため、サービスを開始できませんでした。電源ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。」

原因 端末にシガーライター電源ケーブルから給電されていません。

処置 シガーライター電源ケーブルの接続状態をご確認ください。または、エンジンを切った状態で【電源】ボタンを押したことにより、端末が内蔵バッテリーで起動している可能性があります。その場合は、再度【電源】ボタンを押すことで端末をスリープさせてください。

処置 ヒューズ切れをご確認ください。ヒューズが切れているときは、新しいミニ管ヒューズ（直径 5.2 mm / 長さ 20 mm）に交換して、先端部をしっかりと締めます。必ず規定容量のヒューズ（3 A / 250 V）と交換してください。



「microSD カードの異常を検知しました。一度エンジンを切り microSD カードを抜き差ししてください。microSD カードの異常を検知し続ける場合には、新しい microSD カードに取り換えるか、microSD カードの初期化を行ってください。」

原因 microSD カードの接触不良か microSD カードが消耗しています。

処置 一度お車のエンジンを切ってスリープ状態にし、電源をオフした後、端末の microSD カードトレイを抜き差しして、再度エンジンをかけてください。

「microSD カードが検知できませんでした。microSD カードを挿入してください。」

原因 microSD カードが挿入されていないか、認識されていません。

処置 端末の microSD カードトレイに正しい向きで microSD カードが装着されていることをご確認ください。

「microSD カードの容量が小さいため、録画を開始できませんでした。容量の大きなカードをご使用ください。」

原因 挿入されている microSD カードの容量が小さいため、録画を開始できませんでした。

処置 容量がより大きい microSD カードをご使用ください。16 GB ~ 512 GB の microSD カードを推奨しています。

「SIM カードが検知できませんでした。SIM カードを挿入してください。」
「SIM カードの異常を検知しました。お買い上げの販売元にお問い合わせください。」

原因 nanoSIM カードが挿入されていないか、認識されていません。

処置 端末の電源をオフにした後、microSD カードトレイに正しい向きで nanoSIM カードが装着されていることをご確認ください。nanoSIM カードを正しく装着して microSD カードトレイを端末に差し込み、再度端末の電源をオンしてください。

「PC 接続中は、サービスをご利用できません。」

原因 端末がパソコンに接続されています。

処置 端末をパソコンに接続しないようお願いいたします。

「システムエラーが発生したため、カメラを使用することができません。」

原因 カメラの故障の可能性があります。

処置 別冊を参照いただき、所定のコールセンターへご連絡ください。

「バッテリー交換時期になりました。お買い上げの販売元にお問い合わせください。」

原因 バッテリーが劣化しています。

処置 コールセンターへご連絡ください。

ドライブレコーダー機能を利用しているとき

「イベント録画件数がロックファイルで上限に達するため、イベント録画ができなくなります。」

原因 ロックされているファイルが増加したことにより、ロックされているファイルがまもなく上限に達します。

処置 ロックされた映像を解除するか、新しい microSD カードに交換 (→ P.64) してください。

「イベント録画件数がロックファイルで上限に達したため、イベント録画ができなくなりました。」

原因 ロックされているファイルが増加したことにより、ロックされているファイル数が上限に達しました。これ以降のイベント録画が開始できません。

処置 ロックされた映像を解除するか、新しい microSD カードに交換 (→ P.64) してください。

「イベント録画件数がロックファイルで上限に達しているため、イベント録画ができませんでした。」

原因 ロックされているファイルが増加したことにより、ロックされているファイル数が上限に達しました。そのためイベント録画が開始できませんでした。

処置 ロックされた映像を解除するか、新しい microSD カードに交換 (→ P.64) してください。

「システム保護のためモニター表示を制限します。」

「システム保護のため機能を制限しています。」

「温度上昇によるシステム保護のため、ドライブサポート機能を一時的に制限します。」

原因 端末の温度が上昇しています。

処置 端末の温度が下がるまでお待ちください。端末の温度が低くなった状態で再度エンジンをかけていただくと、制限が解除され、元の表示状態で動作します。

microSD カードを取り出したとき

「microSD カードを再度挿入する前に、端末の電源を切ってください。」

原因 端末の電源を切る前に microSD カードが取り出されました。

処置 microSD カードを再度挿入する前に、端末の【電源】ボタンを押して電源を切ってください。電源を切った状態で取り出し・挿入を行わないと、microSD カードの破損または保存されているデータが壊れる可能性があります。

「システム設定」のメニューを操作しているとき

「設定の初期化に失敗しました。」

原因 設定の初期化に失敗しました。

処置 別冊を参照いただき、所定のコールセンターへご連絡ください。

「microSD カードの初期化に失敗しました。お買い上げの販売元にご相談ください。microSD カードを取り外す場合は、端末の電源を切ってください。」

原因 microSD カードの初期化に失敗しました。

処置 一度お車のエンジンを切って、microSD カードの抜き差しを行ってからエンジンをかけ、再度 microSD カードの初期化を行ってください。または、端末から抜いた microSD カードをパソコンなどを使って初期化*してください。

- ※ microSD カード容量が 32 GB 以下の場合：
ファイルシステムを「FAT32」で設定
- microSD カード容量が 64 GB 以上の場合：
ファイルシステムを「exFAT」で設定

microSD カード / nanoSIM カードの交換について

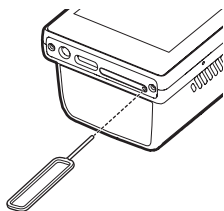
メモ

- 端末には 16 GB ~ 512 GB までの microSD カードを推奨しています。

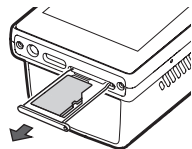
1 端末の電源をオフにします
→ P.24 の「端末の電源をオフにする」

2 端末を取付ブラケットから取り外します
→ P.25 の「端末本体の取り外し方」

3 microSD カードトレイの穴に、
端末に付属のピンを差し込みます
microSD カードトレイが出てきます。



4 microSD カードトレイを引き抜きます

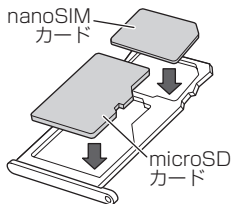


⚠ 注意

- トレイを引き抜くときは、microSD カードと nanoSIM カードが落下しやすいので気を付けてください。
- 端末正面（液晶モニターのある面）を上にして作業しないと、microSD カードや nanoSIM カードが落下、紛失、破損する可能性があります。

5 新しい microSD カード / nanoSIM カードに交換します

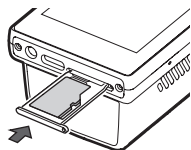
端子のある面を下側にして装着してください。



⚠ 注意

- 取り外した microSD カード / nanoSIM カードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様や飲み込むなどのことがないように、保管場所にもご配慮ください。
- microSD カード / nanoSIM カードの端子部分には触れないでください。接触不良の原因になります。

6 microSD カードトレイを端末に差し込みます



7 端末の電源をオンにします

→ P.21 の「サービスの開始から終了まで」

✎ メモ

- microSD カードは、初期化が必要なことがあります。

充電式バッテリー交換について / リサイクルご協力のお願い

端末には、リチウムイオンバッテリーを使用しております。リチウムイオンバッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。リチウムイオンバッテリーの交換、およびご使用済み製品の廃棄に際しては、リチウムイオンバッテリーを取り出し、リサイクルにご協力ください。リチウムイオンバッテリーを交換するときは、下記の手順で交換してください。

⚠ 注意

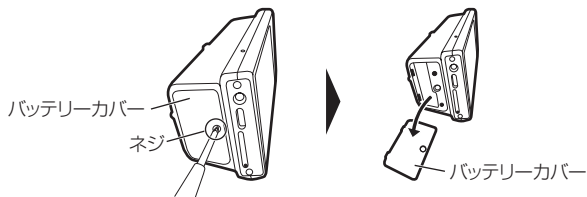
- ショート防止のため、バッテリーを取り出す前に内蔵バッテリーは十分使い切ってください。電源が入らなくなった時点でも残量が少し残っています。そのまま数日間放置してからバッテリーを取り出すことをお勧めします。
- 不要になったリチウムイオンバッテリーは、下記の注意事項を守ってリサイクル協力店の充電式バッテリーリサイクル BOX に入れてください。
 - － バッテリーのビニールカバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
 - － バッテリーのコードやコネクタは切断しないでください。
 - － バッテリーを分解しないでください。
 - － バッテリーの金属端子が露出した場合は、ビニールテープなどを貼って絶縁してください。
- 協力店については、一般社団法人 JBRC ホームページ (<http://www.jbrc.com>) をご覧ください。
- microSD カードや nanoSIM カードは、あらかじめ取り外しておいてください。
- ケースの分解時にケガをしないよう、十分注意して作業してください。



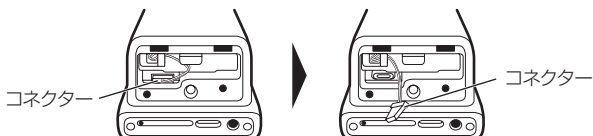
1 端末を取付ブラケットから取り外します

→ P.25 の「端末本体の取り外し方」

2 側面にあるネジを外して、バッテリーカバーを取り外します

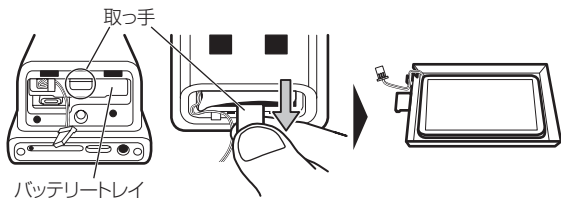


3 バッテリーのコネクターを外します



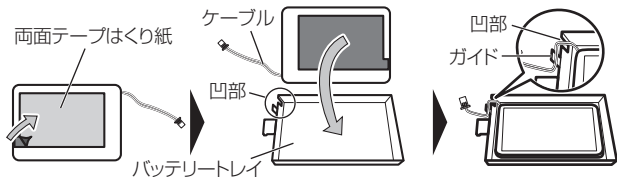
4 バッテリートレイの取っ手を持って、バッテリーを引き出します

バッテリーはバッテリートレイに貼り付けてあります。危険ですので、バッテリーをバッテリートレイから取り外さないでください。

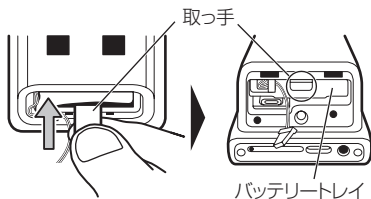


5 新しいバッテリーとバッテリートレイを貼り付けます

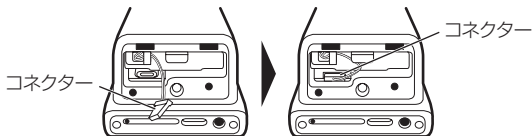
バッテリーの両面テープはくり紙を剥がします。ケーブルがバッテリートレイの凹部に来るように、バッテリーをバッテリートレイに貼り付けます。ケーブルはバッテリートレイの凹部とガイドの間を通してください。



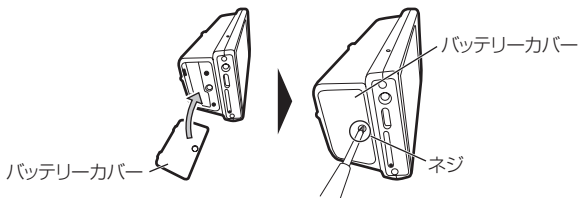
6 バッテリートレイの取っ手を持って、バッテリートレイを端末に挿入します



7 バッテリーのコネクタを接続します



- 8** 側面にあるネジを締めて、バッテリーカバーを取り付けます
バッテリーカバーを取り付ける際、ケーブルを挟み込まないように、
十分注意してください。



- 9** 端末を取付ブラケットに取り付けます
→ P.25 の「端末本体の取り外し方」

商標・著作権

- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パイオニア株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。



- microSDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。



- Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance の認証マークです。



- Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- 記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

主な仕様

共通部

使用電圧	DC 5 V (付属のシガーライター電源ケーブル接続時)
最大消費電流	1.5 A
使用温度範囲	- 10 °C ~ + 60 °C (バッテリー動作を除く)

液晶モニター部

画面サイズ	2.4 インチ
画素数	水平 320 × 垂直 240
方式	TFT アクティブマトリクス方式
バックライト	LED 光源

カメラ部

映像素子	カラー CMOS センサー 1/2.7 インチ
画素数	有効画素 約 200 万画素
レンズ	焦点距離 f=3.0 mm F 値=1.8
画角	水平 122° / 垂直 63° / 対角 151°

マイク部

マイク	3 個
-----	-----

スピーカー部

スピーカー	1 個
-------	-----

microSD カード部

SPEED CLASS	Class 4 / 6 / 10
対応メモリ容量	microSDHC ~ 32 GB microSDXC ~ 512 GB
ファイルシステム	FAT32/exFAT

GNSS 部

GPS、QZSS、GLONASS、Beidou、Galileo	30 チャンネル マルチチャンネル受信方式
アンテナ	本体内蔵

LTE/3G 部

データ通信方式	UMTS/HSPA/HSPA + : バンド 1、6、19 LTE : バンド 1、3、19、28
---------	--

Wi-Fi 部*

ワイヤレス準拠規格	IEEE 802.11b/g/n
変調方式	OFDM/DSSS/CCK
チャンネル	1 ~ 13 チャンネル
セキュリティ	OPEN、WPA、WPA2、WEP
使用周波数帯域	2.4 GHz

Bluetooth 部*

Bluetooth バージョン	Bluetooth 4.2
プロファイル	SPP、GATT
出力	Power Class 2

バッテリー部

リチウムイオンバッテリー	容量：750 mAh
--------------	------------

外形寸法

本体のみ	128 (W) mm × 50 (H) mm × 50 (D) mm
取付ブラケット装着時	128 (W) mm × 55 (H) mm × 60 (D) mm

質量

本体のみ (取付ブラケット、電源ケーブル等除く)	約 189 g
--------------------------	---------

シガーライター電源ケーブル

入力電圧	DC 12 V ~ 24 V
出力電圧	DC 5 V
最大出力電流	2.1 A
ケーブル長	5 m
ヒューズ定格	3 A/250 V
ヒューズサイズ	直径 5.2 mm/長さ 20 mm

付属品

取付ブラケット	1
シガーライター電源ケーブル	1
microSDHC カード	1
アルコールクリーナー	1
SD カードアダプタ	1
microSD カードトレイ用ピン	1
取付説明書	1
保証書	1

* 2020 年 10 月現在のサービスでは使用していません。

電波に関するご注意

端末は、電気通信事業法および電波法に基づく設計認証を取得しています。また、VCCI 自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合したマークを画面に電子的に表示しています。取得した設計認証番号およびマークは [認証情報] で確認できます。(→ P.46、P.48)

● 端末は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって端末を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また端末は日本国内のみで使用できます。

● 下記の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

* 分解 / 改造すること。

* 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

● 端末の無線機能は、2.4 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉により、端末の無線機能の音声かとぎれたり聞きとりにくくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。端末は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。

* 無線 LAN を利用した AV 機器・防犯機器などを使用している環境で、端末の無線機能を使うと、音声かとぎれたり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。

● その他、下記の機器でも、2.4 GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声かとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。

* 火災報知器・ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、コンピューターなど）

* 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム

* マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー

* 自動ドア・万引き防止システム（書店や CD ショップなど）

* 自動制御機器・その他、Bluetooth[®] 対応機器や VICS（道路交通網システム）

* アマチュア無線局など



⑩

- ①「2.4」 GHz 帯を使用する無線設備を表します。
- ②「DS」 変調方式を表します。
- ③「4」 想定される与干渉距離（約 40 m）を表します。
- ④「OF」 変調方式を表します。
- ⑤「4」 想定される与干渉距離（約 40 m）を表します。
- ⑥「FH」 変調方式を表します。
- ⑦「1」 想定される与干渉距離（約 10 m）を表します。
- ⑧「XX」 変調方式を表します。
- ⑨「1」 想定される与干渉距離（約 10 m）を表します。
- ⑩ 2 400 MHz～2 483.5 MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

製造元

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

<KFWZ21H> <CYR1264-C>